



# “福田獅子”産業文化祭に於て舞う

福田獅子舞いは今からおよそ百八十年前の江戸時代末期に上小阿仁村から伝えられたとされています。舞いは四部に構成され、地の舞い、中の舞い、おかめ舞い、天の舞いの順に演じられます。これらは悪魔払いと五穀豊穡を願うものです。

地の舞いは、地に潜む悪魔を追い払うため、ささらに導かれた獅子が地を這うように舞うものです。中の舞いは地から這い出た悪魔も地上の悪魔も、け散らすように暴れ回るのである。

おかめ舞いは悪魔払いをした獅子が、民の前で悠然と誇る姿を表わしています。

天の舞いは勇壮に舞った獅子を、民が見送る中をたつまきをまきながら天に昇っていく姿である。写真は天の舞い。

'87/ 11  
第355号

## 今月の紙面から

- 2面 特集 産業祭
- 3面 できごといろいろ  
ふれあい広場

## 広報

# あいかわ

昭和62年(1987年)11月28日 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186(78)2100

## 全県若妻サミット'87

合川町と県教育委員会主催の「全県若妻サミット'87」が十一月十五日、合川町民体育館と農村環境改善センターで開催されました。



会場には、女性、母親の視点で二十一世紀を見つめ、育児と家庭、職場や地域社会について語り合おうと、五百人が集いました。

開会にあたり、畠山町長は、「若妻のみなさんの声を多くの人の前に発表する場を持ち、相互理解を深めながら地域の発展に反映させ、全国的にも珍しいこのサミットを意義あらしめてほしい」とあいさつしました。

サミットでは八人の提言発表があり、▽地域若妻会の活動から▽家庭教育学級に参加して▽同居家族のしあわせを求めて▽豊かな人間関係を▽婦人会と豊かな地域社会等、最後に御所野多津子さん(兼沢)から▽子供の進路と将来への期待、と題しそれぞれ発表されました。

午後からの意見交換では参加者から家庭生活、地域社会、将来への期待など数々の意見が出され、最後に西英子コー

ディネイターが、「それぞれの家庭や地域で行う取り組みの方向づけが出来たのではないかな。未来を生きる子らに、より豊かで心が充たされる地域社会づくりのために役立てて下さい」と結んで閉会しました。

### 東根田に多目的集会所建設竣工 総事業費一千八百二十万五千元



第三期山村振興農林漁業対策事業、東根田多目的集会所建設が完成し、十一月八日現地で竣工式典が行われ、引き続き祝賀会が開催され、関係者一同完成を喜び合いました。

地域におけるコミュニティ活動により住民間の健康づくりと融和を深め明るく楽しい山村集落づくりを目的とした東根田多目的集会所は、旧根田公民館跡地、根田宇屋布岱地内に建設されこのたび完成しました。

〈二面へつづく〉

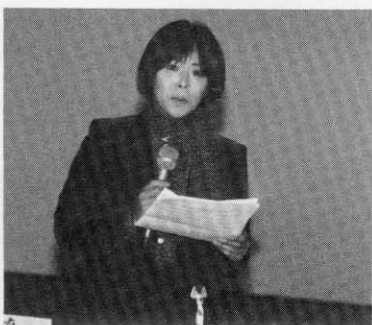
## 町長日記から

十一月十五日、全県若妻サミット'87が、わが町の町民体育館で開催された。

コーディネイターは県地婦連の西英子事務局長があたり、湯沢、雄勝、横手、平鹿、大曲、仙北、本荘、由利、秋田、南秋河辺、能代、山本、大館、北秋、鹿角と八人の若妻代表が、子育て、家庭機能、地域社会等に果すべき若妻の使命が発表され、午後からは聴衆との一問一答があつて濃密な内容となり第一回の催しとしては大変な成果をあげたと思ふ。

大曲、仙北代表の人が家庭のなかでしゅうとめが果してくる機能に、娘のようにとけこむことが出来ることに幸せを感じていることの発表など満場の共感を呼んだ。

若妻の勉強会は、すなわち、しゅうとめへの勉強会でもあったわけだ。(義)



## わたしたちの町

人口	
男	4,476人
女	4,790人
計	9,266人
転入	21人
転出	12人
世帯数	2,301世帯
(10月末日住民登録人口調べ)	





「ふるさと讃歌、満場から大きな拍手

# 町おこし広がる 人の和地域の和 にぎわった産業文化祭

第12回合川町産業文化祭は11月2、3日、町民健康広場各施設を主会場にして開かれました。

初日は20数カ所の演展示コーナーの開放で幕開けしたあと、新穀感謝祭、農政講演会、また夜は初の企画の第1回全日本スイートコーン大食い選手権大会、演歌カラオケ大会、2日目は長寿餅つき大会でオープン、この日の主な行事は、町内各団体総出演の芸能発表会、チビッコ英会話に挑戦、畠山町長の記念講演、ふるさと讃歌発表など、屋外に設けられた即売コーナーでは、大量に野菜を買う主婦の姿も見られました。

最後の式典では町の産業、教育文化部門の功労者として個人3氏と1団体が表彰されました。あいにくの雨天に見舞われた2日間でしたが、どの会場も大いににぎわいをみせていました。



みそつけタンポ、焼グリに舌づつみ



芸能発表の皮切りは町内4保育園児合同の鼓隊演奏、父兄らの熱心な視線を受けて、元気いっぱいでした。

木製品づくりにチャレンジ



素晴らしいハーモニーを披露するママさんコーラス



魅力ある地域社会を作るため、町民みんながお互いの長所、欠点を知り合い補い合つて相互理解と融和の町づくりをと町長の講演。



大変お上手ですとス  
タック先生(チビッコ  
英会話教室で)

表彰者は次のとおりです

- ▽農業部門功労賞 福岡 六蔵 三里
- ▽商工部門功労賞 小笠原進一 増 沢
- ▽農業部門農業賞 佐藤 芳夫 東根田
- ▽教育文化奨励賞 福田獅子保存会



**歳末たすけあい  
運動に協力を**

合川町共同募金会では、今年もまた十二月一日から三十一日まで歳末たすけあい運動を実施し、生活に困っている家庭、寝たきりのお年よりや、福祉施設で暮している方々に町民みんなの暖かい思いやりの心をお届けして、明るいお正月を迎えるよう運動を展開することになりましたのでよろしく、ご協力をお願いします。

へ一面よりつづく

木造平屋建百六十六・四五  
へーホームートの面積で、  
集会室一、和室研修室二、調  
理実習室一、トイレ、収納ス  
ペース、交通部分の近代的な  
施設内容になっています。  
今後、農林業の技術の交流  
研究を始め生活改善学習等  
により、地域活性化を促し農  
業経営の安定に寄与される  
こととなります。

**第五回臨時議会**

十一月十日、第五回臨時議  
議会が開催され、総務費、土  
木費等、六十二年一般会計  
補正予算 五千三百七十三万  
五千円が原案どおり可決され  
たあと、合川町国民健康保険  
診療所の経営適正化について  
の意見書案が提出され、可決  
されました。

なお意見書はこの日、議長  
名で畠山町長に提出されまし  
た。





### 健康づくり

#### 意見をまとめて

第四回農村の健康を考えるシンポジウムが十一月二十二日、役場会議室で開かれました。開会に先立って産業文化祭に出品した家庭料理コンクール入賞者を表彰。参加者に出品料理のテキストが配られました。

シンポジウムでは各世代を代表して五名が意見発表。

「集団検診やドックで健康を確認」と健康づくりの実践を語り、松岡良子さん(羽根山)は「専業農家の主婦としての家族みんなが喜ぶ食事作りを心がけています」とその苦勞を紹介。藤島伸一さん(木戸石)は「母の料理、妻の料理の人気料理を発表。向井フミさん(弥栄)は、「母の味を受け継ぎ、また伝える時に思う食生活の変わりを発表。」



松岡誠君(駅前)は、「育ち盛りの年代から家庭や給食への注文を」と卒直な要望。助言者にはお医者さんや栄養士さんなどがあたり、幅広く提言が出されました。

### 川井連続 アベック優勝

#### 町民綱引大会



十一月十八日から町民体育館で第四回町民綱引き大会が開かれました。大会には男子十五チーム、女子八チームが参加。各チームとも練習を積んで大会に臨んだ様子で、息を合せて、力強い引っ張り合い。大声援にわいていました。結局、男女ともに川井チームが優勝。女子は三年連続、男子は四年連続の優勝です。

### 火災に備えて

#### 真剣に

#### 火災想定訓練

秋の火災予防運動(十一月一日〜七日)の初日、合川町消防団らによる防火訓練が行われました。

訓練は「午前八時三里部落中心付近からの火災発生」という想定、各団員は水源地か

ら中継操作で素早く放水してました。

沿道には部落の人たちも大勢見物、団員の機敏な動きに感心していました。

このあと三里担手センター前で消火器を使つての消防訓練を実施、初期消火の大切さを再確認しました。



### 交通安全活動

#### 羽根山親子会

羽根山親子会では大型の交通安全看板を設置し、ドライバー、歩行者に交通安全を呼びかけています。



### 盛会だった家庭

#### 料理コンクール

合川町と合川町農協では、

老人から子どもまで、どの世代でも喜んで食べられる家庭料理を地域に普及する運動の一つとして、第二回家庭料理コンクールを実施しました。

町内から二十九名の応募があり、いずれも素晴らしい作品ぞろいでした。町では、産業文化祭で審査と展示を行なっていました。

審査の表彰基準として、町長賞は、合川町をイメージ化アイデアが豊富で将来への夢が開かれるような料理。

農協組合長賞は、自家生産物が活かされ、生産と消費が結びつき、ほのかな農村生活が感じられるような料理。教育長賞は、老人から子どもまでが歩みよれるもので、「家庭の和」が生み出されるような料理、ということ審査されました。

十一月二十二日、合川町役場で開催された、第四回農村の健康を考えるシンポジウムの席上で表彰されました。受賞者と作品は次のとおりです。

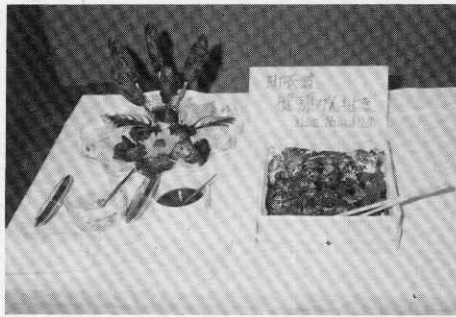
- ▽町長賞 杉山田 畠山マリ
- カ 「健康がんどき」
- ▽農協組合長賞 西根田 金田ヨシノ 「糸カボチャの漬物」
- ▽教育長賞 鎌沢 福田ユリ 「トウモロコシのロール巻」

#### 部門賞

- ▽材料の部 増沢 小笠原ふみ子 「何んでもマーボー」
- ▽味付けの部 三木田 三浦浩子 「揚げサツマイモのみぞれあえ」
- ▽調理法の部 川井 吉田ヒデノ 「イワシのサンドフライ」

▽色彩・見た目の部 合川新生園農産部 「野菜プリン」

▽アイデアの部 鎌沢 鈴木リサ 「子メロンの粕漬け」



写真は町長賞の健康がんどき

### 中国研修生が合川 高校へ体験入学

県立菅農高等学校に留学中の第六次中国農業技術研修生の一行十人のうち第一班の五人が十一月九日、合川高校で「一日体験入学」を行いました。体験入学は、研修生たちが日本語の修得と高校生との交流を営大当局に要望し、両校の間で協議が整って実現したものです。研修生はパソコンの授業に強く関心を寄せていたようでした。



### 中学校全校集会中 国研修生から学ぶ

合川中学校では十月二十六日、同校体育館で全校集会を開き、中国研修生の講話などで中国と日本の違いなどを学ぶとともに生徒たちも自分たちの気づかない部分、中国から見た日本など中国研修生と大いに交流を深めました。



ふるさと会員になられた皆さんから、寄せられたおたよりの中から紹介します。ふれ合い広場に、町外の皆さんからのおたよりをお寄せください。

### 感謝の気持ち

#### でいっぱい

前略 御逸下さい。秋も深まり、朝夕寒さを感じさせられる季節となりました。合川ふるさと会に入会させて頂き、早五カ月になりました。毎月の広報紙により、合川の様子が今迄と違った分野で知る事が出来、楽しみの一つになりました。

遠く離れていてもやはり、心のふるさとと自分の生れ育った所だからこそ想い懐しさも湧いてくるのでしょうか。さてこの度は心のこもったふるさとの特産物を沢山送って頂きましてありがとうございます。早速、キリタンポを作り家族揃っておいしく頂きました。ダシがよく出てコ

クがあつてこの時とばかりに腕をふるって作りました。本当においしかったです。このおいしさの裏には町長さん初め、担当して下さった方々の御苦勞が沢山あったのでしようと思ひ感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも益々、合川町が今以上に発展する事を願ひ陰ながらお祈り致して居ります。今後共宜敷くお願いいたします。

神奈川県相模原市大野台一  
の十三の七 佐藤百合子

### ふるさと

#### 「母の味」「母の心」

店先では「味覚の秋」が山と積まれ、にぎやかさをのぞかせております。今日近頃、この度は、なつかしいふるさとの味の数々をお送り頂きありがとうございます。どうぞございました。

主人も私も合川出身で、わが家から一・五km離れたところには主人の母たちも住んで居ります。

広報が届くと一緒に読んで楽しく昔話を花を咲かせております。合川を離れ二十二年、こちらでの生活の方が長いのに年と共にふるさとがなつかしくふるさとを持つている事を幸せに思います。母も来年は喜寿を迎えます。

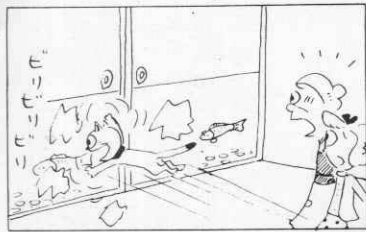
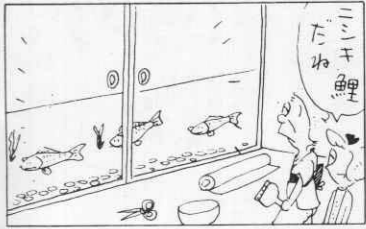
町おこし会からの品々でふるさとのお味を出し祝つてあげることが出来たらと……いつまでも健康でいて欲しいと祈わすにはいられません。ふるさとの「母の味」「母の心」ありがとうございました。

神奈川県藤沢市長後一三一  
三十八 桜田道子



さわやか君

西村 宗



26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 30 29 28

土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 12 月 日 土 11

情報 500円 国民年金 申し込み

公営住宅 入居者募集

町では公営住宅の入居申込みを受け付けています。

所在地 川井字松石殿一

二五四 松ヶ丘団地

戸数 一戸

規格 六畳三、台所、浴室、トイレ、物置

家賃 二万八千円

申込期限 十二月七日

申込方法 役場建設課にある申込用紙により申込むこと。

入居資格等ありますので役場建設課に問い合せください。

合川町体育協会三十周年 交通安全日

交通安全日

県民手帳の 予約受付

六十三年用「県民手帳」の予約を受け付けております。

内容は、日記編、名簿編、便覧編、資料編などです。ご希望の方は次のところへ申込みください。一冊三百五十円 役場総務課 (☎七八二一〇〇) ~

国民年金の 届出を忘れずに

農家の皆さんが出稼ぎに行きますと、サラリーマンとして厚生年金と健康保険に加入することになり、奥さんも年取が百万円を越えないときは被扶養者として認められることとなります。

ところで、国民年金の加入者には、「第一号被保険者」と呼ばれる自営業者、「第二号被保険者」と呼ばれるサラリーマン、そして「第三号被保険者」と呼ばれるサラリーマンに扶養されている奥さんの三種類があり、職業により加入する種類が違ってきます。

このことから、出稼ぎ先で厚生年金に加入したときは、ご主人は第一号から第二号となりますし、被扶養者として認められた奥さんは第一号から第三号となりますので、ご夫婦とも役場に加入の種類を変える届け出が必要になります。



ます。

この手続きをしますと、第二号、第三号となったご夫婦の国民年金の保険料は、自らの納める必要はありません。

また、出稼ぎを終えたときは、ご夫婦とも第一号となる届け出をして、今までどおり保険料を納めることとなります。このとき届け出を忘れますと未納の状態となり年金額が少なくなったり、万一のとき何の年金も受けられないことにもなりますので忘れずに届け出をして下さい。

出稼ぎに行かれる方は、年金手帳を勤め先に提出して下さい。

一冊の年金手帳に厚生年金の番号と国民年金の番号が記入されることになり、加入する年金が変わっても、その番号を使うことで、年金の加入期間がつながることになります。

「みんなで育てよう」 交通マナーと思いやり

年末の交通安全運動

年末の交通安全県民総ぐるみ運動 (十二月一日〜十日)

飲酒運転追放県民運動強調月間 (十二月一日〜三十一日) が実施されます。

この運動は、年末のあわただしさや積雪、凍結による道路事情の悪化、飲酒運転などから予想される交通事故の多発を抑止するため、一人ひとりに交通安全思想を徹底し、正しい交通ルールとマナーの習慣付けることにより事故防止の徹底を図ることにあります。

全町民の願い交通死亡事故ゼロ三千日達成に向け、交通事故をおこさない、事故に合わないよう充分注意しましょう。

青色申告決算説明会

大館税務署では、正しい決算と申告をしていただくため、次の日程で決算説明会を開催いたします。

日時 昭和六十二年十二月四日 (金) 午後一時三十分より 四日 (金) 午後一時三十分より 場所 合川町公民館

統計調査に協力を

通商産業省の工業統計調査と石油等消費構造統計調査が十二月三十一日現在で実施されます。この調査は、毎年行われているもので、一部の事業は隔年) 年末年始に調査員が訪問しますので、ご協力ください。

図書室だより

ご利用ください地域文庫 稲山純子さんから、子供たち読んでいただきたいと、たくさんの本が送られてきました。さっそく図書室の児童コーナーに置きましたので、どうぞ、ご利用ください。

稲山さんは中村カツ(駅前)さんの長女です。 稲山さんの暖かい気持ちを機会に子供の読書に関心のある人たちの同好会を結成したいと、いろいろ声があり第一回の話し合いが次のとおり行われますが、たくさんの方の参加をお待ちしております。

日時 昭和六十二年十二月十六日 (水) 午後七時 場所 改善センター図書室

手帳

年末を控えて売り場がぎわっています。英米独仏など各国からの輸入物もあります。外国品では、日本の祝日がわからなくて困ると思いますが、日本向けにちゃんと入っているものもあります。そうであるものには、祝日などのシールが用意されていました。最近の流行はシステム式手帳、バインター、スケジュール、アドレス・カード入れなど何でもパッケージした部厚い手帳で、これも輸入品や国産がいろいろ出ています。なかには十五万円もするものがあってびっくり。これは高級な革を使った特製品ですが、普通のものでも、一万円以上のものが目立ちました。

もうひとつの新顔は電子式の手帳。漢字でメモ書きができ、百年以上先までのスケジュールや、千五百人分の電話番号を記憶するなどの機能を持ったものも出ています。また、声で記憶する電子式の手帳もあります。手帳の世界も様変わりですね。

最近の子供や主婦もスケジュール手帳を持つようになり、世の中ますます多忙になりそうです。

ところで年末年始には事故や犯罪、特に金融機関関係の犯罪が増加します。銀行などの金融機関を利用する時には注意しましょう。

善意のご寄付

敬称略

治郎 (貞由) 五郎 (貞由) 栄一 (貞由) 重三 (貞由) 七三 (貞由) 清七 (貞由) 治郎 (貞由) 五郎 (貞由) 栄一 (貞由) 重三 (貞由) 七三 (貞由) 清七 (貞由)

香典返しに 藤橋川平 木村伊藤 鈴木鈴木 鈴木鈴木

慶弔だより 原井田 寺上 山藤 田川 正松 福後 松鈴 伊福

お誕生おめでとうございます 萩原 安中 村島 佐金 平

広報歳時記